

【スラグ】 Q&A コーナー

Q. 溶融スラグとはどんなもの？

A. ごみを焼却した時に発生する焼却灰を約1300℃の高温で溶かしたものを冷却し、固化させたものです。

Q. 溶融スラグはごみとは違うんですか？

A. 溶融スラグは、ガラスのようなツヤとつぶつぶが特徴で、砂の代わりに土木・建設資材として有効利用できます。



Q. 溶融スラグを使うとどんな効果があるの？

A. 焼却灰、溶融スラグとも処分するには費用がかかります。焼却するごみは年間約60,000トン。そこから出る約6,000トンが焼却灰で、そのうち約3,500トンが溶融スラグとなり、一部が利用されており、処分費用の削減につながっています。

Q. 熔融スラグは使っても安全なんですか？

A. 1300℃の高温で溶かしているので、ダイオキシン・水銀などの有害物質を分解・無害化されています。

Q. 灰を熔融スラグにする必要はあるのですか？

A. 灰を熔融・固化することにより容積を約半分にする
ことができ、最終処分場の延命を図ることができる。

Q. 熔融スラグはどんな形状をしているんですか？

A. 砂状のものになります。

